

授業科目	*地域母子保健				実務家教員担当科目	○					
単位	1.	履修	必修	開講年次	1	開講時期	前期				
担当教員	伊藤 直子										
授業概要	<p>本講義では、助産として地域で母子保健を推進する上で必要な母子保健行政の仕組みや制度、社会資源、保健医療関係職種との連携等について解説する。</p> <p>また、今日の動向をふまえ、周産期におけるメンタルヘルス、虐待予防やグローバル社会における活動について解説する。</p>										
授業形態	講義 グループワーク	授業方 法	講義とグループワークを組み合わせながら、授業内容を深めていきます。								
学生が達成すべき行動目標											
標準的 レベル	<p>1. 地域母子保健の仕組み、施策やサービスについて説明できる。(DP1-1)</p> <p>2. 地域において、多様な状況にある対象者のニーズや支援について説明できる。(DP1-1、DP2-1)</p> <p>3. 地域における母子をとりまく課題を包括的に捉えることができる。(DP1-1、DP2-1、DP3-1、DP4-1、DP4-2)</p> <p>4. 地域母子保健活動における多職種との連携について説明できる。(DP1-1、DP2-1、DP3-1、DP4-1、DP4-2)</p> <p>地域母子保健の一つの事象について、学生が達成すべき行動目標1～4について説明することができる。</p>										
理想的 レベル	地域母子保健の複数の事象について、学生が達成すべき行動目標1～4について説明し、検討することができる。										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合(数値)				備考						
試験											
小テスト											
レポート	100%										
発表(口頭、プレゼンテーション)											
レポート外の提出物											
その他											
カリキュラムマップ(該当DP)・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	MI21210J
学習課題(予習・復習)										1回の学習目安 (時間)	
予習: 地域における母子の現状について情報を集めて講義に臨む。										4	
授業計画											
第1回	地域母子保健の概念・意義について意見交換し、地域における助産師の役割について意見交換を行う。(伊藤)										
第2回	地域母子保健の動向と課題について解説し、意見交換を行う。(伊藤)										
第3回	日本の母子保健の仕組みや制度、社会資源について解説し、意見交換を行う。(伊藤)										

第4回	今日的課題（周産期におけるメンタルヘルスケア）について解説し、これからの母子保健活動の目指すものについて意見交換を行う。（伊藤）
第5回	今日的課題（虐待予防）について解説し、これからの母子保健活動の目指すものについて意見交換を行う。（伊藤）
第6回	北九州市における母子保健の現状と動向、対策について解説する。（外部講師）
第7回	グローバル社会における地域母子保健活動の現状と課題、対策について解説する。（外部講師）
第8回	地域母子保健活動における多職種連携と助産師の果たす役割について、解説し、意見交換を行う。（伊藤）
テキスト	助産学講座9地域母子保健・国際母子保健 医学書院
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業中、随時紹介する。
課題に対するフィードバックの方法	検討される課題に対して、単元毎にフィードバックしながら授業を進行します
学生へのメッセージ・コメント	<p>看護師課程で学修した保健医療福祉行政論の知識及び国民衛生の動向から母子保健の現状を確認しておく。</p> <p>地域母子保健について、授業で触れた内容以外においても、講師に問題提起し、主体的に授業参加することを期待します。</p>